極秘

本信A7.0.0.8-37にあり。

（コピーにチェックリストナンバーがあったので全部もへんこう）

獨蘇開戰ノ場合ニ於ケル國際情勢ノ判斷及對策

（昭一六、六、二三）

一、情勢判斷

(1)英米ハ蘇聯ニ對シ積極的ニ援助ヲ與フルコトトナリ英米蘇及支ノ連繫實現セラルルニ至ルヘシ但シ情況ニヨリ重慶ニ對スル援助ノ實質的弱化竝共產軍ノ後楯減勢ニ伴フ國共紛爭ノ激化等ハ重慶ヲシテ對日和平ヲ考慮セシムルノ公算無シトセス

(2)英米ハ蘇聯トノ連繫ト平行シ對日宥和政策ヲ實行シ日本ヲシテ三國同盟離脱ノ方策ヲ講スルニ至ルヘシ

米國ハ一面對英援助ヲ强化シ參戰ノ一途ヲ辿ルヘシト雖モ他面此ノ機會ニ獨英接近ニ協力スルニ至ルヘキコトモ予想ニ難カラ

外務省

ス

(3)蘇聯ニ關シテハ次ノ如キ事態ノ發生ヲ豫想セラル

(イ)西部戰線ニ於テハ敗戰ヲ免レス結局「シベリア」方面ニ遷都シ長期抗戰ヲ策スルニ至ルヘク蘇聯軍隊ノ東部方面ヘノ後退集中、空軍基地ノ擴充ハ英米トノ連繋ト相俟ツテ日本ヘノ重大脅威トナルノ虞アリ

(ロ)「スターリン」政權覆滅シ(A)國内ハ收拾スヘカラサル狀態ニ陷ルカ(B)新ニ統一セル親獨政權ノ樹立ヲ見ルカ(C)各地ニ幾多ノ獨立政權ノ成立スルニ至ルベエ

(4)獨逸ハ蘇聯ト併行シテ英國打倒ニ全力ヲ傾倒スヘキモ或ハ英國ト相和スルニ至ル虞ナシトセス

外務省

(5)帝國ノ國内狀勢ハ次ノ如キ事態發生スルニ至ルベシ

(イ)過般ノ中立條約ニ依リ一應中立的態度ヲ保持スヘキモ國内輿論トシテ北伐南進兩論沸騰スヘシ

(ロ)米英蘭印等ノ對日經濟封鎖ハ急速ニ強化セラルヘク殊ニ「シベリア」鐵道ノ完全閉鎖ニヨリ獨逸ヨリノ物資輸入杜絶シ本邦經濟ニ至大ノ影響ヲ與フルニ至ルヘシ

三、對　策

獨蘇開戰直後ハ一應靜觀ノ態度ヲ執リツツ左記方途ヲ講スルモノトス

(1)支那ニ關シテハ次ノ如ク措置ス

(イ)對蘇南進兩略ニ備フル爲滿洲及佛印ニ陸軍兵力集中ヲ理由ト

外務省

(外)伴ふ印度支那に対する経済施策要項

(以) 件名 占領支那に対する経済施策要項

シ汪政權强化ノ具現緒ニ就キタルコト等ヲ標榜シ日華條約ノ起定ニ從ヒ直ニ在支戰線ノ收縮ヲ斷行ス（蒙疆ハ張家口迄、河北山東、中支三角地帶、海南島、廣東竝海岸線封鎖ニ止ム）

(ロ)汪政權ト協力シ速ニ重慶政府ヲ交戰團体トシテ認メ第三國關係完封ノ措置ヲ執ル

(2)米國ニ對シテハ從來ノ交渉ヲ其ノ儘續行スル態度ヲ以テ對處スルト共ニ英米ノ宥和政策ハ之ヲ巧ニ利用シ支那事變ノ處理ニ活用シ全面的和平促進ニ資ス

(3)樞軸中心ノ外交政策ハ依然之ヲ堅持ス從テ英米ノ宥和政策ヲ利用スルニ當リテモ米國カ參戰セハ日本モ直チニ參戰スルノ餘儀ナキニ立至ルヘキコトヲ明カニシ置クモノトス

S 1.1.1.0 - 27

(4) 蘇聯ニ對シテハ國内擾亂ニ陷ル場合ハ直ニ北樺太及沿海州ノ保障占領ヲ行ヒ引續キ爾余ノ工作ヲ爲スコトトシ又親獨新政權成立スルカ如キ場合ニハ次ノ要求ヲ提示シ之カ貫徹ヲ期スルモノトス右我方要求ノ容レラレサル場合ノ措置ハ別途考究スルモノトス

(イ) 北樺太ノ買收

(ロ) 沿海州ノ租借

(ハ) 「バイカル」以東非武裝地帶設定

(ニ) 援蔣政策ノ放棄

(5) 佛印及泰ニ對シテハ漸次兵力ノ集中ヲ行ヒツツ飛行基地ノ供與等政治及軍事的要求ヲ爲シ我カ南進政策遂行ノ準備ヲ強化スル

伴ふ印度支那に対する経済施策要項

モノトス

蘭印ニ對シテモ我實力的準備ト併行シ従來ノ主張ヲ貫徹スル様一層努力ス

外務省

(外

佛印及支那ニ対スル経済施策要項

極秘

獨蘇開戰ノ場合ニ於ケル國際情勢ノ判斷及對策

（昭一六、六、二三）

一、情勢判斷

(1) 英米ハ蘇聯ニ對シ積極的ニ援助ヲ與フルコトトナリ英米蘇及支ノ連繋實現セラルルニ至ルヘシ但シ情況ニヨリ重慶ニ對スル援助ノ實質的弱化竝共産軍ノ後備減勢ニ伴フ國共紛爭ノ激化等ハ重慶ヲシテ對日和平ヲ考慮セシムルノ公算無シトセス

(2) 英米ハ蘇聯トノ連繋ト平行シ對日宥和政策ヲ實行シ日本ヲシテ三國同盟離脱ノ方策ヲ講スルニ至ルヘシ

米國ハ一面對英援助ヲ強化シ參戰ノ一途ヲ辿ルヘシト雖モ他面此ノ機會ニ獨英接近ニ協力スルニ至ルヘキコトモ予想ニ難カラ

S 1.1.1.0-27

ス

(3)蘇聯ニ關シテハ次ノ如キ事態ノ發生ヲ豫想セラル

(イ)西部戰線ニ於テハ敗戰ヲ免レス結局「シベリア」方面ニ遷都シ長期抗戰ヲ策スルニ至ルヘク蘇聯軍隊ノ東部方面ヘノ後退集中、空軍基地ノ擴充ハ英米トノ連繋ト相俟ッテ日本ヘノ重大脅威トナルノ虞アリ

(ロ)「スターリン」政權潰滅シ(A)國内ハ收拾スヘカラサル狀態ニ陥ルカ(B)新ニ統一セル親獨政權ノ樹立ヲ見ルカ(C)各地ニ幾多ノ獨立政權ノ成立スルニ至ルヘエ

(4)獨逸ハ對蘇ト併行シテ英國打倒ニ全力ヲ傾倒スヘキモ或ハ英國ト相和スルニ至ル虞ナシトセス

(×
件名 占領支那に対する経済施策要項

(ハ)帝國ノ國内狀勢ハ次ノ如キ事態發生スルニ至ルヘシ

(イ)過般ノ中立條約ニ依リ一應中立的態度ヲ保持スヘキモ國内輿論トシテ北伐南進兩論沸騰スヘシ

(ロ)米英蘭印等ノ對日經濟封鎖ハ急速ニ強化セラルヘク殊ニ「シベリア」鐵道ノ完全閉鎖ニヨリ獨逸ヨリノ物資輸入杜絶シ本邦經濟ニ至大ノ影響ヲ與フルニ至ルヘシ

二、對　策

獨蘇開戰直後ハ一應靜觀ノ態度ヲ執リツツ左記方途ヲ講スルモノトス

(1)支那ニ關シテハ次ノ如ク措置ス

(イ)對蘇南進兩略ニ備フル爲滿洲及佛印ニ陸軍兵力集中ヲ理由ト

外務省

(4 佛領印度支那に対する経済施策要項

シ汪政權強化ノ具現ニ就キタルコト等ヲ標榜シ日華條約ノ規定ニ從ヒ直ニ在支戰線ノ收縮ヲ斷行ス（蒙疆ハ張家口迄、河北山東、中支三角地帶、海南島、廣東並海岸線封鎖ニ止ム）

(ロ)汪政權ト協力シ速ニ重慶政府ヲ交戰團体トシテ認メ第三國關係完封ノ措置ヲ執ル

(2)米國ニ對シテハ從來ノ交渉ヲ其ノ儘續行スル態度ヲ以テ對處スルト共ニ英米ノ宥和政策ハ之ヲ巧ニ利用シ支那事變ノ處理ニ活用シ全面的和平促進ニ資ス

(3)樞軸中心ノ外交政策ハ依然之ヲ堅持ス從テ英米ノ宥和政策ヲ利用スルニ當リテモ米國カ參戰セハ日本モ直チニ參戰スルノ餘儀ナキニ立至ルヘキコトヲ明カニシ置クモノトス

S 1.1.1.0-27

(外

佛領印度支那に対する経済施策要項

(4)蘇聯ニ對シテハ國內混亂ニ陥ル場合ハ直ニ北樺太及沿海州ノ保障占領ヲ行ヒ引續キ爾余ノ工作ヲ爲スコトトシ又親獨新政權成立スルカ如キ場合ニハ次ノ要求ヲ提示シ之カ貫徹ヲ期スルモノトス右我方要求ノ容レラレサル場合ノ措置ハ別途考究スルモノトス

(イ)北樺太ノ買收

(ロ)沿海洲ノ租借

(ハ)「バイカル」以東非武裝地帶設定

(ニ)援蔣政策ノ放棄

(5)佛印及泰ニ對シテハ漸次兵力ノ集中ヲ行ヒツツ飛行基地ノ供與等政治及軍事的要求ヲ爲シ我カ南進政策遂行ノ準備ヲ強化スル

外務省

モノトス

蘭印ニ對シテモ我實力的準備ト併行シ從來ノ主張ヲ貫徹スル樣一層努力ス

(以 佛領印度支那に対する経済施策要項

S 1.1.1.0-27

極秘

獨蘇開戰ノ場合ニ於ケル國際情勢ノ判斷及對策

（昭一六、六、二三）

一、情勢判斷

(1) 英米ハ蘇聯ニ對シ積極的ニ援助ヲ與フルコトトナリ英米蘇及支ノ連繋實現セラルルニ至ルヘシ但シ情況ニヨリ重慶ニ對スル援助ノ實質的弱化竝共産軍ノ後衞減勢ニ伴フ國共紛爭ノ激化等ハ重慶ヲシテ對日和平ヲ考慮セシムルノ公算無シトセス

(2) 英米ハ蘇聯トノ連繋ト平行シ對日宥和政策ヲ實行シ日本ヲシテ三國同盟離脱ノ方策ヲ講スルニ至ルヘシ

米國ハ一面對英援助ヲ強化シ參戰ノ一途ヲ辿ルヘシト雖モ他面此ノ機會ニ獨英接近ニ協力スルニ出ルヘキコトモ予想ニ難カラ

(ｘ 佛領印度支那に対する経済施策要項

(以外 佛領印度支那に対する経済施策要項

ス

(3) 蘇聯ニ關シテハ次ノ如キ事態ノ發生ヲ豫想セラル

(イ) 西部戰線ニ於テハ敗戰ヲ免レス結局「シベリア」方面ニ遷都シ長期抗戰ヲ策スルニ至ルヘク蘇聯軍隊ノ東部方面ヘノ後退集中、空軍基地ノ擴充ハ英米トノ連繋ト相俟ツテ日本ヘノ重大脅威トナルノ虞アリ

(ロ) 「スターリン」政權潰滅シ(A)國内ハ收拾スヘカラサル狀態ニ陥ルカ(B)新ニ統一セル親獨政權ノ樹立ヲ見ルカ(C)各地ニ幾多ノ獨立政權ノ成立スルニ至ルベエ

(4) 獨逸ハ對蘇ト併行シテ英國打倒ニ全力ヲ傾倒スヘキモ或ハ英國ト相和スルニ至ル虞ナシトセス

佛領印度支那に対する経済施策要項

(4)帝國ノ國內狀勢ハ次ノ如キ事態發生スルニ至ルベシ

(イ)過般ノ中立條約ニ依リ一層中立的態度ヲ保持スヘキモ國內輿論トシテ北伐南進兩論沸騰スヘシ

(ロ)米英蘭印等ノ對日經濟封鎖ハ急速ニ強化セラルヘク殊ニ「シベリア」鐵道ノ完全閉鎖ニヨリ獨逸ヨリノ物資輸入杜絕シ本邦經濟ニ至大ノ影響ヲ與フルニ至ルヘシ

二、對策

獨蘇開戰直後ハ一應靜觀ノ態度ヲ執リツツ左記方途ヲ講スルモノトス

(1)支那ニ關シテハ次ノ如ク措置ス

(イ)擧蘇南進兩略ニ備フル爲滿洲及佛印ニ陸軍兵力集中ヲ理由ト

[illegible] 佛領印度支那に対する経済施策要項

シ汪政権強化ノ具現策ニ就キタルコト等ヲ標榜シ日華條約ノ規定ニ従ヒ直ニ在支戰線ノ収縮ヲ断行ス（蒙疆ハ張家口迄、河北山東、中支三角地帯、海南島、廣東竝海岸線封鎖ニ止ム）

(ロ)汪政権ト協力シ速ニ重慶政府ヲ交戦團体トシテ認メ第三國關係完封ノ措置ヲ執ル

(2)米國ニ對シテハ従来ノ交渉ヲ其ノ儘續行スル態度ヲ以テ對處スルト共ニ英米ノ宥和政策ハ之ヲ巧ニ利用シ支那事變ノ處理ニ活用シ全面的和平促進ニ資ス

(3)樞軸中心ノ外交政策ハ依然之ヲ堅持ス從テ英米ノ宥和政策ヲ利用スルニ當リテモ米國カ参戰セハ日本モ直チニ参戰スルノ餘儀ナキニ立至ルヘキコトヲ明カニシ置クモノトス

(44) 佛領印度支那に対する経済施策要項

(ハ)蘇聯ニ對シテハ國内變亂ニ陥ル場合ハ直ニ北樺太及沿海州ノ保障占領ヲ行ヒ引續キ爾余ノ工作ヲ爲スコトトシ又親獨新政權成立スルカ如キ場合ニハ次ノ要求ヲ提示シ之カ貫徹ヲ期スルモノトス右我方要求ノ容レラレサル場合ノ措置ハ別途考究スルモノトス

(イ)北樺太ノ買收

(ロ)沿海洲ノ租借

(ハ)「バイカル」以東非武裝地帶設定

(ニ)援蔣政策ノ放棄

(5)佛印及泰ニ對シテハ漸次兵力ノ集中ヲ行ヒツツ飛行基地ノ供與等政治及軍事的要求ヲ爲シ我カ南進政策遂行ノ準備ヲ強化スル

外務省

モノトス

蘭印ニ對シテモ我實力的準備ト併行シ從來ノ主張ヲ貫徹スル樣一層努力ス

(44) 併領印度支那に対する経済施策要項

S 1.1.1.0-27

極秘

獨蘇開戰ノ場合ニ於ケル國際情勢ノ判斷及對策

（昭一六、六、二三）

一、情勢判斷

(1) 英米ハ蘇聯ニ對シ積極的ニ援助ヲ與フルコトトナリ英米蘇及支ノ連繫實現セラルルニ至ルヘシ但シ情況ニヨリ重慶ニ對スル援助ノ實質的弱化竝共產軍ノ後援減勢ニ伴フ國共紛爭ノ激化等ハ重慶ヲシテ對日和平ヲ考慮セシムルノ公算無シトセス

(2) 英米ハ蘇聯トノ連繫ト平行シ對日宥和政策ヲ實行シ日本ヲシテ三國同盟離脱ノ方策ヲ講スルニ至ルヘシ

米國ハ一面對英援助ヲ強化シ參戰ノ一途ヲ辿ルヘシト雖モ他面此ノ機會ニ獨英接近ニ協力スルニ至ルヘキコトモ予想ニ難カラ

外務省

(44 佛領印度支那に対する経済施策要項

(××) 佛領印度支那に對する經濟施策要項

ス

(3) 蘇聯ニ關シテハ次ノ如キ事態ノ發生ヲ豫想セラル

(イ) 西部戰線ニ於テハ敗戰ヲ免レス結局「シベリア」方面ニ遷都シ長期抗戰ヲ策スルニ至ルヘク蘇聯軍隊ノ東部方面ヘノ促進集中、空軍基地ノ擴充ハ英米トノ連繋ト相俟ツテ日本ヘノ重大脅威トナルノ虞アリ

(ロ) 「スターリン」政權潰滅シ(A)國內ハ收拾スヘカラサル狀態ニ陷ルカ(B)新ニ統一セル親獨政權ノ樹立ヲ見ルカ(C)各地ニ幾多ノ獨立政權ノ成立スルニ至ルベエ

(4) 獨逸ハ蘇聯ト併行シテ英國打倒ニ全力ヲ傾倒スヘキモ或ハ英國ト相和スルニ至ル虞ナシトセス

S 1.1.1.0-27

(メメ)佛領印度支那に対する経済施策要項

(ハ)帝國ノ國內狀勢ハ次ノ如キ事態發生スルニ至ルヘシ

(イ)過般ノ中立條約ニ依リ一應中立的態度ヲ保持スヘキモ國內輿論トシテ北伐南進兩論沸騰スヘシ

(ロ)米英蘭印等ノ對日經濟封鎖ハ愈速ニ強化セラルヘク殊ニ「シベリア」鐵道ノ完全閉鎖ニヨリ獨逸ヨリノ物資輸入杜絶シ本邦經濟ニ至大ノ影響ヲ與フルニ至ルヘシ

二、對策

獨蘇開戰直後ハ一應靜觀ノ態度ヲ執リツツ左記方途ヲ講スルモノトス

(1)支那ニ關シテハ次ノ如ク措置ス

(イ)英蘇南進南略ニ備フル爲滿洲及佛印ニ駐軍兵力集中ヲ理由ト

外務省

(4/4) 佛領印度支那に対する経済施策要項

シ汪政權強化ノ具現策ニ以テスルコト等ヲ保證シ日華條約ノ規定ニ從ヒ直ニ在支戰線ノ收縮ヲ斷行ス（蒙疆ハ張家口迄、河北山東、中支三角地帶、海南島、廣東及海岸線封鎖ニ止ム）

(ロ)汪政權ト協力シ速ニ重慶政府ヲ交戰團体トシテ認メ第三國關係完封ノ措置ヲ執ル

(2)米國ニ對シテハ從來ノ交渉ヲ其ノ儘續行スル態度ヲ以テ對處スルト共ニ英米ノ宥和政策ハ之ヲ巧ニ利用シ支那事變ノ處理ニ活用シ全面的和平促進ニ資ス

(3)樞軸中心ノ外交政策ハ依然之ヲ堅持ス從テ英米ノ宥和政策ヲ利用スルニ當リテモ米國カ參戰セハ日本モ直チニ參戰スルノ餘儀ナキニ立至ルヘキコトヲ明カニシ置クモノトス

(ホ)蘇聯ニ於テ國内混亂ニ陷ル場合ハ直ニ北樺太及沿海州ノ保障占領ヲ行ヒ引續キ爾余ノ工作ヲ爲スコトトシ又親獨新政權成立スルカ如キ場合ニハ次ノ要求ヲ提示シ之カ貫徹ヲ期スルモノトス右我方要求ノ容レラレサル場合ノ措置ハ別途考究スルモノトス

(イ)北樺太ノ買收

(ロ)沿海洲ノ租借

(ハ)「バイカル」以東非武裝地帶設定

(ニ)援蔣政策ノ放棄

(ヘ)佛印及泰ニ對シテハ漸次兵力ノ集中ヲ行ヒツツ飛行基地ノ供與等政治及軍事的要求ヲ爲シ我カ南進政策遂行ノ準備ヲ強化スル

(メメ 佛領印度支那に対する経済施策要項

(44) 佛領印度支那に対する経済施策要項

モノトス

蘭印ニ對シテモ我實力的準備ト併行シ從來ノ主張ヲ貫徹スル樣一層努力ス